

熱帯性低気圧による暴風雨、高波への注意

令和7年3月22日(DPS 総25第14号)

在デンパサール日本国総領事館

- インドネシア気象庁(BMKG)は、3月22日から25日の期間、バリ州全域で熱帯性低気圧による暴風雨、高波に注意を呼びかけています。
- これまでも暴風雨による倒木、土砂崩れ、浸水、高波等により死者を含む被害が発生しています。また、海での活動には十分な注意をしてください。

1. インドネシア気象庁(BMKG)は、バリ島南側のインド洋上で発生した熱帯性低気圧(Tropical Cyclone)の影響により、3月22日から25日の期間、バリ州全域で大雨、暴風、3m程度の高波が予想されるとして注意するように呼びかけています。
 2. 21日にはヌサ・ペニダ沖で、シュノーケリング客を乗せたボートが高波の影響で転覆し外国人乗客1名が死亡する事故が発生しています。
- また、これまでも暴風雨による倒木、土砂崩れ、浸水、高波等による死傷者を含む被害が発生していますので、注意が必要です。
3. 今後も BMKG(<https://www.bmkg.go.id/>)等からの情報収集を行うと共に、安全対策に努めてください。

(了)